

夢の企画がついに実現！

Accu-line CUSTOM 組み合わせ方法

組み合わせはあくまでも参考資料となります。投球するコンディションや、ボウラータイプによって異なる場合がございますので、お間違えのないようお願いを申し上げます。ボールのパフォーマンスに影響を与えるのは下記の3つとなります。ご参照下さい。

【カバーストック】

走るカバー(①または②)を選んだ場合は、バックエンドリアクションに切れ味が出す事が可能となります。キャッチするカバー(④または⑤)を選んだ場合は、手前からのリアクションを強め、ストロングアークな動きになりやすい。③(アキュライン6)のカバーストックは、走り・キャッチともにバランスがとれています。

【コア(中玉)】

選択コアすべてが低慣性コア(RGが低い)の為、転がりが非常に重視されています。違いはΔRG(フックポテンシャル)にあり、数字が大きければ大きいほど、曲がりが大きいとされている。その反面、バックエンドリアクションにおいては、大きければ大きいほど”ARC上”になり、低くなれば”キレ”が増します。

【表面仕上げ】

表面が粗くなればなるほど、オイルに強くなりますが、バックエンドまでパワーが持続しない可能性が高くなり、ポリッシュがきつくなればなるほど、走りは優先されますが、オイルに左右される可能性が高くなります。

【参考例】

オイルに一番強く曲がりも強い

A	B	C	D	E
5	2	1	1	1

組合せコンセプト

オイルに一番強いカバー(ACCU8)に、転がりとねじれ感が強いコア(ACCU8)を1,000番アブラロン仕上げにした組み合わせ。オイルに強く、バックエンドのねじれが強い。

山本勲プロ選択モデル

A	B	C	D	E
5	4	2	5	4

組合せコンセプト

10,000POLISHで一番強いカバー(ACCU8)を使用し、先でのSHARPなバックエンドが得られるようなコア(ACCU6)を選びました。トーナメント中盤～後半で使用したいですね。

斉藤志乃ぶプロ選択モデル

A	B	C	D	E
4	1	1	2	1

組合せコンセプト

キャッチ力は高いが、キレがあるカバー(ACCU7)と転がりの強いコア(ACCU8)を1,000番仕上げに。朝一のコンディションで強い動きを求めました。

松永裕美プロ選択モデル

A	B	C	D	E
1	1	1	1	1

組合せコンセプト

スキッドの出るカバーストック(ACCU-CORE)に、正反対の動きをするコア(ACCU2)を1000番仕上げに。キャッチしながら、スキッドが感じれるストロングARCな動きを！

かなり走り切れがある組み合わせ

A	B	C	D	E
1	4	2	5	3

組合せコンセプト

一番スキッドが出るカバー(ACCU-CORE)にフレアの細かいコア(ACCU6)を10,000番POLISHにした組み合わせ。走り・切れを最大に追求しました。

大澤義樹プロ選択モデル

A	B	C	D	E
2	2	1	1	1

組合せコンセプト

やや走るカバー(ACCU-SHOT)を1,000番仕上げにして、転がりの良いコア(ACCU8)を選択。朝一から中盤にかけて幅広く活用出来る組み合わせだと思います。

吉田真由美プロ選択モデル

A	B	C	D	E
3	2	2	5	1

組合せコンセプト

万能なカバーストック(ACCU6)を10,000POLISHする事で、手前のスキッドを確保。転がりの強いコア(ACCU8)で先での動きを大きく切らせたい。トーナメント中盤～後半で使

姫路麗プロ選択モデル

A	B	C	D	E
5	1	1	1	5

組合せコンセプト

一番曲がるボールが欲しかったので、コア(ACCU2)・カバー(ACCU8)共に強い物を選択。ポディーカラーは黒で、ピンク色のロゴを入れて可愛く仕上げました。

(株)アメリカンボウリングサービス